

経営比較分析表（令和2年度決算）

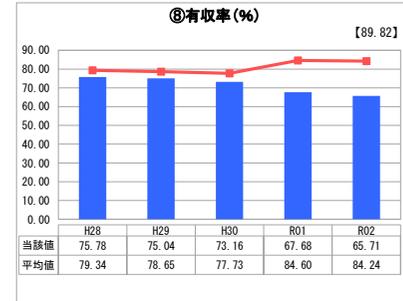
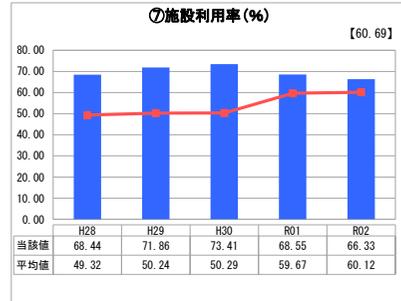
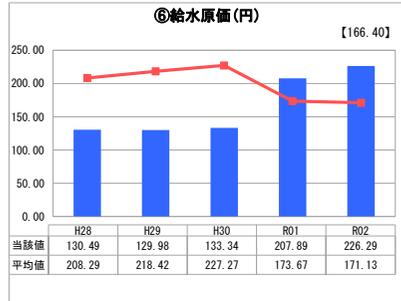
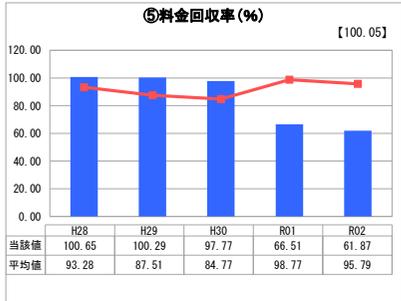
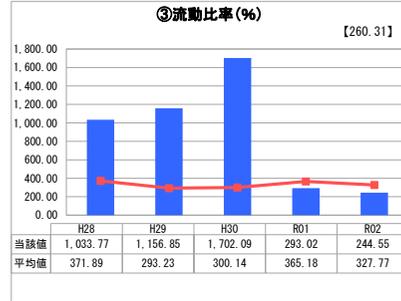
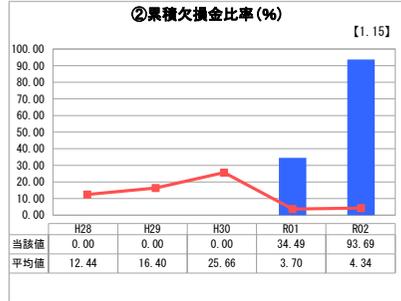
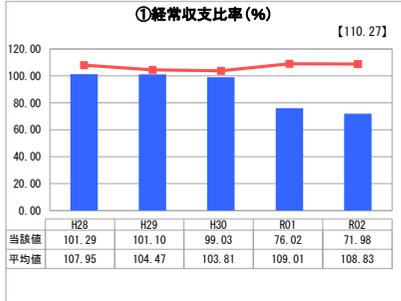
岐阜県 下呂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	69.83	99.33	2,383	

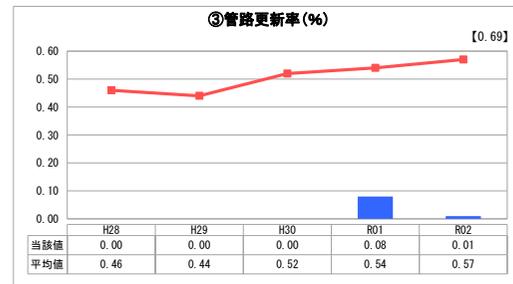
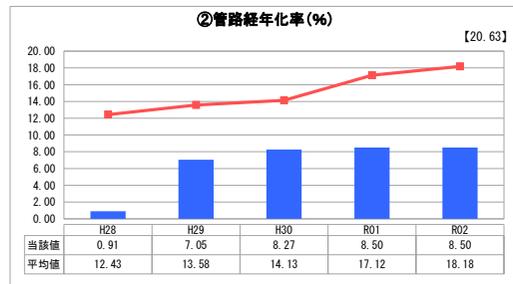
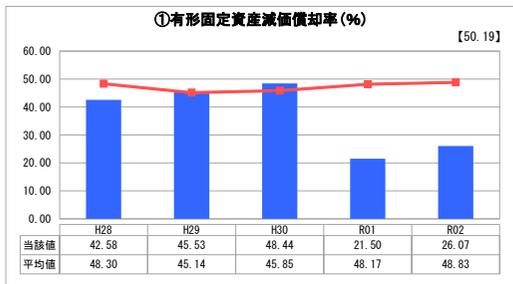
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,385	851.21	36.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
30,881	82.37	374.91

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

R1年度に上水道と簡易水道が会計統合となり経常収支比率が減少している。また、上水道では無かった累積欠損金が発生し、簡易水道の経営が水道事業を圧迫している状況にある。給水原価の上昇は、簡易水道の管路等の施設が多く、維持管理経費がかかることが原因であり、経費削減や投資の効率化が求められる。施設利用率は平均より高いが有収率は低いため、地道な漏水調査と管路更新の計画策定を行い収益に繋がるよう努めなければならない。人口減少による有収率の低下に対する施設の統廃合やダウンサイジングは、地理的要因から困難であり管路更新は影響度の高い区域から行っていくことになる。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を経過した施設が多く、管路・機器の劣化による修繕の増加や、R2年度は豪雨災害の影響もあり管路更新率は減少している。水道設備台帳を整備してアセットマネージメントと漏水調査を行い更新計画の策定を行っている。管路の更新投資を増やすために料金改定等により財源を確保し、延命化・耐震化を図り、有収率向上に繋げる。

全体総括

人口減少の影響により給水収益の増加が見込めない状況のなか、世界的な感染症の影響により流入人口の減少で料金収入も減少している。その反面管路や設備の更新に伴い減価償却費が増加し、収益的収支は下がる傾向にある。漏水調査やアセットマネージメントによる計画的な管路更新を行うため、補助金や他会計繰入金など新たな財源の確保に努めると共に料金の改定を検討する。また、民間委託を活用して経営改善を図る。